

2006 年度

科目名 ゼミナールⅠ	対象学科・学年 文学部コミ3回生	担当者 中山 貞敏
授業テーマ ビジネス、キャリアデザイン		
授業の概要と目標 テーマ的にはビジネス関係中心。知識の獲得そのものより、必要に応じて知識を獲得できるエンジン(意志力と思考力)の養成に力を注ぎたいと思います。 ゼミⅠでは、10年後、20年後・・・の「こうありたい自分(希望)」のイメージを膨らませ、そのためには、現在「何をなすべきか」を考えていきます(いわゆる「キャリアデザイン」)。その中で自然に卒論のテーマや、就職へのイメージも出てくるはず。ちなみに、テーマ設定が終われば論文は7割がた完成です(たぶん)。		
評価方法 レポートによる評価のほか、ゼミにおける発表、議論への参加度合いなどを総合評価します。		
テキスト 特にテキストは指定しません。 その時々で必要な文献を指定する場合があります。	著者	出版社
参考書 下記参照	著者	出版社
授業スケジュール・内容 進め方：前後期30回のゼミを、次のような進め方で行おうと考えています。(ゼミ生の意向によって変更可) 前期⇒教師がさまざまな考える材料を提供して、イメージ造りを刺激します。この間にゼミ生はそれぞれのイメージをどんどん膨らませていってください。教師が提供する素材を加工したり、変形したりしながら、ゼミ生の間での活発な議論を期待します。 後期⇒膨らませたイメージの焦点を絞り、「こうありたい自分」になるために「何をなすべきか」をそれぞれが考えていき、逐次実行していきます。 参考文献： モダンガール論(斉藤美奈子:文春文庫)・紅一点論(斉藤美奈子:ちくま文庫)、13歳のハローワーク(村上龍:幻冬舎)、人口動態調査・若年者の就職能力に関する実態調査(厚労省:ホームページ等から入手可能)、仕事人と組織(太田肇:有斐閣)、希望格差社会(山田正弘:筑摩書房)、キャリア・アンカー(エドガー・シャイン:白桃書房)、スローキャリア(高橋俊介:PHP研究所)など 資格取得について：「何をなすべきか」が明確になり、ビジネス系の資格(販売士、簿記、秘書実務など)取得の勉強をしたいという熱意がある人には、自主ゼミを開くなどして応援します。		